

国語

問題一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係でこの部分は非公表としています

著作権の関係でこの部分は非公表としています

（櫻井芳雄『まちがえる脳』による）

（注） 1 産生^{さんせい}される——特定の物質が合成・生成される。

2 賦活^{ふかつ}する——機能や働きを活発にする。

問 1 空欄 A ～ E に入る言葉として最も適切なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使わないこと。

ア そもそも イ また ウ つまり エ むしろ オ しかし カ もちろん

問 2 傍線⁽¹⁾「プラセボ効果」について、第一段落から第三段落の内容をまとめると次のように説明できる。空欄 I ～ VI に入る表現を、I は二字、II は四字、III は十字、IV は一字、V は六字、VI は四字で本文から抜き出して答えなさい。

プラセボ効果とは、薬効成分のない I を服用しても、それが II と、信じることで、

実際に症状が改善する心理的、生理的現象である。

この効果がもたらす作用は なく、 が、 を に引き起こしたものである。

問 3

・

に入る言葉をそれぞれ文中から抜き出して答えなさい。

問 4

傍線(2)「プラセボ効果には限界もある」とあるが、どのような限界か文中の言葉を用いて答えなさい。

問 5

傍線(3)「それには生物学的な根拠があったのである」とあるが、これは次のように言い換えることができる。空欄に入る表現をⅠは四字、Ⅱは十一字、Ⅲは四字、Ⅳは十字、Ⅴは四字、Ⅵは七字で本文から抜き出して答えなさい

精神的なストレスが を低下させ、 という事実には、主要な免疫系の臓器には

がつながり、 が の表面にあり、免疫系と神経系とが して
いるという生物学的な根拠があったのである。

問 6

傍線(4)「A I（人工知能）と称されるシステム」とあるが、A Iが実用化されるようになった理由を文中の言葉を用いて、四十字以内で書きなさい。ただし、「A Iが実用化されるようになった理由は」に続けて書くこと。

問 7 傍線(5) 「A I はいずれ脳と同じように働くようになり、将来、ヒトの脳を超えた人工脳に発展するという予測も出てきた」とあるが、この予測を筆者はどのように考えているか、百字以内で書きなさい。

問題二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係でこの部分は非公表としています

著作権の関係でこの部分は非公表としています

（澤康臣『事実はどこにあるのか』による）

問 1 傍線①～⑩の漢字は読み方を、カタカナは漢字に直して書きなさい。ただし、読み方は現代仮名遣いで、漢字は楷書で書きなさい。

問 2 傍線（A）「人が最大の情報源。毎日、五人と会え」というサイエド・ナザカット氏のアドバイスは「偽情報、誤情報のSNS拡散が大問題になっている」現状において、なぜ有効なのか、理由を六十字以内で書きなさい。

解答例

受験番号
氏 名

二		一																												
問2	問1	問7		問6	問5							問4	問3	問2					問1											
立場の人からの意見を集約して真偽を判断できるから。	⑥ 詳細	⑦ 衛星	⑧ しにせ	⑨ まんえん	⑩ 威勢	① 標的	② 占拠	③ 撤退	④ 荒涼	⑤ 俳優	Ⅵ 密接に相互作用 (7字)	Ⅴ 免疫細胞 (4字)	Ⅳ 神経伝達物質の受容体 (10字)	Ⅲ 神経繊維 (4字)	Ⅱ 病気になるりやすくさせる (11字)	Ⅰ 免疫機能 (4字)	痛みや麻痺などの自覚症状を伴わない疾患に対しては恩恵が期待できないこと。	a エンドルフィン	b メカニズム	Ⅵ 脳と身体 (4字)	Ⅴ 物質的な変化 (6字)	Ⅳ 心 (1字)	Ⅲ 幻想でも思い込みでも 10字	Ⅱ よく効く (4字)	Ⅰ 偽薬 (2字)	A イ	B カ	C ア	D オ	E ウ

(60字)